

前回総合教育会議提案内容	主な修正点
はじめに	
	<ul style="list-style-type: none"> ・箇条書きを文章に修正 ・20～30年後を見据え→20年後を見据え ・児童生徒数の推移と見通しのグラフを追加
1. 花巻市がめざす児童生徒像と学校のあり方	
◎めざす児童生徒像	
◎めざす学校のあり方	
【学校の特性】	
【めざす学校の姿】	
◎担うべき役割	
【児童生徒】	
【小中学校】	
【保護者】	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や社会的モラルを定着させる → 子ども達の基本的な生活習慣の定着に努める ・学校や地域と連携し家庭教育の充実を図る → 家庭が子ども達の安心と安らぎの場となるよう努める
【地域・学校支援団体等】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や団体として教育環境を整備する → 子ども達の安全を見守る ・学校や家庭と連携した体験学習などの教育機会を創出する → 地域の伝統・文化の継承に努める
【行政】	
2. 学校の現状と課題	
(1) 少子化に伴う学校の小規模化	
①複式学級における学習課題	
グラフ①（人口推移）、	
グラフ②（児童数の推移と今後の見通し）	
②小規模中学校における教員配置課題	<ul style="list-style-type: none"> ②小規模中学校における教育課題 ・グラフ③（中学校教職員数）を追加、表①（中学校部活動一覧）を追加
③学級規模の縮小による課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ④（小学校学級数、1学級平均児童数）、グラフ⑤（中学校学級数、1学級平均生徒数）、図①（主体的・対話的で深い学び事例）を追加
(2) 施設の老朽化	
(3) 教職員の多忙化	
3. 学校の適正規模	3. 学校の適正規模の 基本的な考え方
(1) 小学校	
(2) 中学校	
4. 学校の適正配置	4. 通学範囲の基本的な考え方
(1) 本方針における地域の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> ・削除
(2) 通学距離及び時間	<ul style="list-style-type: none"> ・削除
【適正配置の基本的な考え方】	<ul style="list-style-type: none"> ・削除
5. 小中一貫校の導入	5. 小中一貫校 導入の基本的な考え方
	6. 適正配置の基本的な考え方
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 花巻地域 ・適正規模と通学範囲を勘案し、新たな学区を設けることが望ましい場合は、学校統合、学区見直し、小中一貫校の導入を検討 ・複式は学校統合により早期に解消
	<ul style="list-style-type: none"> (2) 大迫地域 ・地域内に小学校1校、中学校1校の配置を維持 ・複式は学校統合により早期に解消
	<ul style="list-style-type: none"> (3) 石鳥谷地域 ・地域内に小学校1校、中学校1校の配置を維持 ・学校規模の縮小が推測される1学年1学級校の統合について早期に検討を開始 ・小中一貫校の導入を検討
	<ul style="list-style-type: none"> (4) 東和地域 ・現状を維持する
6. 学校施設改善等の基本ルール	7. 学校施設改築等の基本ルール
7. 学校の適正規模・適正配置を進めるに当たっての留意事項	8. 学校の適正規模・適正配置を進めるに当たっての留意事項
(1) 統合や学区変更等を具体化するに当たっては、地域との対話を深めるとともに、統合決定後から統合までには、概ね2年間の準備期間を置く	
(2) 学区指定制度を堅持する。また、学校選択制で花巻小に入学した児童は、花巻中への進学を基本とする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校選択制に関する記述を削除
(3) 花巻市就学前教育プログラムに基づく、保育園等と小学校の連携を推進する	